

世田谷区議会第3回定例会 一般質問報告

前号に続き9月22日の江口区議の一般質問を報告します。
なお、質問答弁は概要であり、正式な議事録ではありません。

障害者グループホーム増設を！

●「親亡き後、障害を持つ子どもが 安心して生活できるグループホームを」

この間、重度障害者の保護者の方から「入居期限がある『通過型』の入所施設に子どもがいるが、退去期限が迫っている。親も高齢。区内で重度者向けグループホームを。」と相談を受けました。精神障害家族会からも「親亡き後、入居期限を決めない滞在型グループホーム増設を」と要望が届いています。

障害者の方が安心して生活できる、グループホーム増設求め、3点質問しました。

Q①江口、当事者・家族会等と連携し、地域の障害理解促進の一層の取り組みを。

A①障害福祉部長「庁内の関係所管と連携して取り組む。」

Q②、公有地のみならず、民有地を活用した促進を。

A②、民有地での整備がより促進されるよう方策を検討する。

Q③、精神障害者グループホームの整備促進を求める。

区内滞在型グループホームを視察し、「都の補助は、入居期限を決めない『滞在型』より、入居期限（約三年）を決めている『通過型』の方が補助金が厚い。滞在型の運営に苦慮している」と伺った。区独自の滞在型への補助を。

A③、「運営事業者への支援を検討する」

障害者グループホームは不足しており、今後も地域の方々と増設を求めていきます。



↑区内の給田にある精神障害者滞在型グループホームを視察

深刻な介護人材不足…対策強化を！

多くの介護事業所の方から「訪問ヘルパーは高齢化し、募集しても集まらない。介護を支える担い手がなくなる危機感がある。区内の訪問事業所がコロナ禍で、幾つか撤退した。職員確保・定着の更なる支援を」の切実な要望が寄せられています。

Q江口、イメージアップや介護職として働きたい、働き続けられる処遇改善等総合的対策が必要であり、積極的対策を。

A 高齢福祉部長

介護職の魅力向上に資する取組みや採用活動経費助成のさらなる充実など、介護人材不足解消に向け、インセンティブにつながる効果的な施策を検討する。

日本共産党世田谷区議団 区政報告ニュース 2022年10月号

こんにちは **江口 じゅん子**です

連絡先 世田谷区世田谷4-21-27 日本共産党世田谷区議団控室
メール eguchi3604@gmail.com TEL5432-2791 fax3412-7480



区議会質問報告②

来年度早期には、砧・大蔵に ワゴン車型ミニバスの実証（モデル）運行を！

交通不便地域の砧地域では6年間、「定時定路線型」の運行を検討してきました。しかし区はこの度、収支率が高い等を理由に、モデル運行は「デマンド型」実施を提案。デマンド型は、電話やスマホ等で事前予約して、乗り合いで、各ミーティングポイント（バス停）で乗降する仕組みです。

私は、早期のモデル運航を求める立場で、以下質問しました。

Q①江口 区は定時定路線型との比較・検証結果、デマンド型は「収支率向上の可能性が高い」等として、実証運行はデマンド型を提案した。その根拠・検証について伺う。

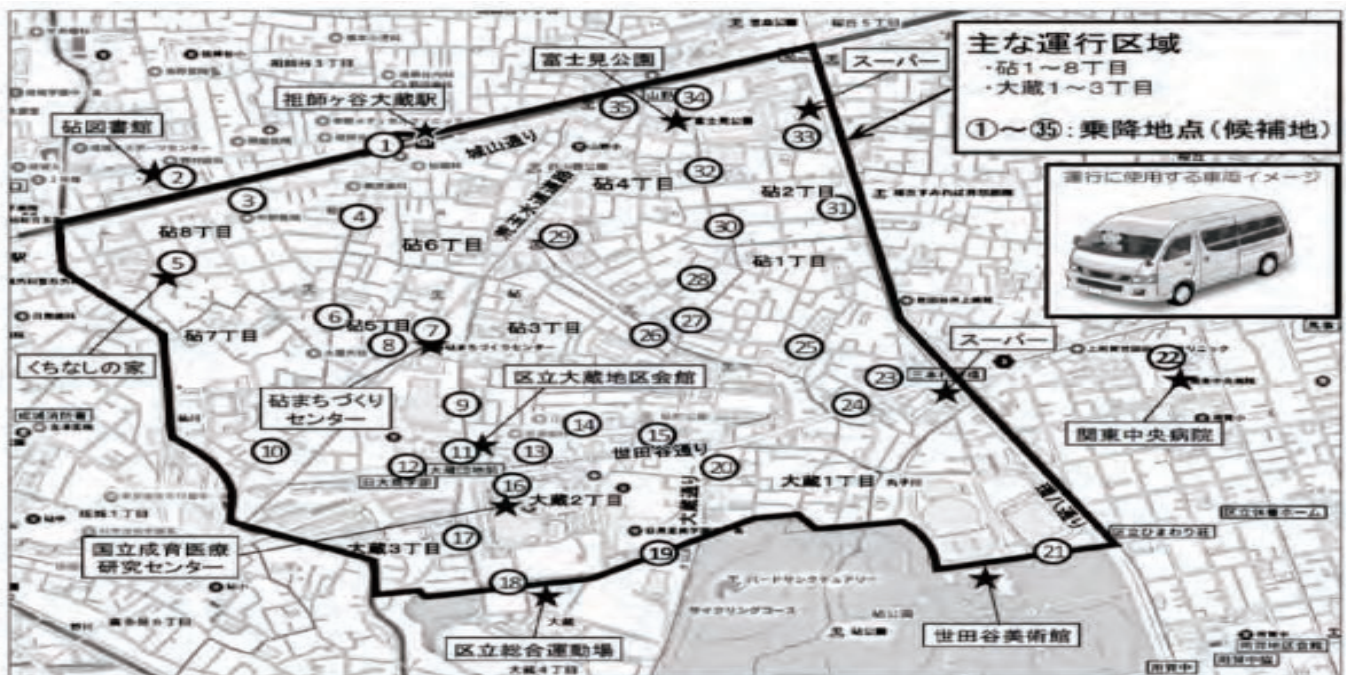
A①道路交通計画部部長 定時定路線型の課題である、乗客が乗り切れない可能性や一部運休時間帯が無く、乗降地点を効果的に配置出来る。多くの利用者が見込めると考えた。

Q②早急に地域への説明と意見を聞く場である、「勉強会」実施を。地域からは「定時定路線型の運行は5日間なのに、デマンド型は何故3日間なのか」「デマンド型なら、関東中央病院に行つて欲しい。」「70歳以上の運賃百円は嬉しい」等々伺っている。勉強会の周知・広報強化を。

A②、周知範囲を広げるなど工夫し、地元に対し早期に説明し、地域の一層の機運醸成に向け取り組む。

Q③実証運行でデマンド型収支が悪い時、定時定路線型の再検討を。

A③実証運行の実績を踏まえ、改善の見通しが立たない場合などは、運行形態変更を含む抜本見直しの検討を考える。



運行車両	砧地区は狭い道路が多いため、ワゴン車※(10人乗り程度)1台を活用
運行日時	週3日を想定 午前8時30分～午後5時台

↑写真のミーティングポイント（バス停）は想定です。なお70歳以上の方は運賃100円想定です。